

中央消防署 火災予防通信

ストーブ火災に気をつけろてば！！

中央区のみなさん、こんにちは。11月号でストーブをお使いになる際の注意点を3つ記載しましたが、増刊号では、「ストーブはおっかねもんら！」をより深くご理解いただくために詳しくお知らせします。ちょっとお付き合いください。(中央区火災概況～政令市10年(H19～H28)の調べ～より)

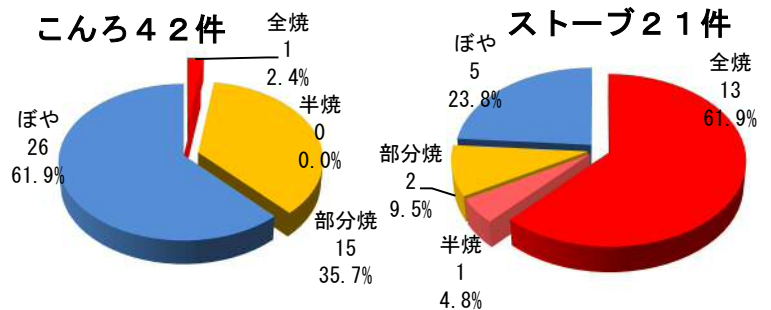
★ストーブから出火するとこんなことが・・・

●全焼してしまうことが多い(火元棟)

右の円グラフをご覧ください。

10年間で「こんろ」が原因の住宅火災は、42件中1件(2.4%)が全焼で、60%以上が「ぼや」でした。一方「ストーブ」は、21件中13件(61.9%)が全焼でした。「ストーブ」火災は被害が大きくなります。

★原因によって燃える程度に違いがあります！

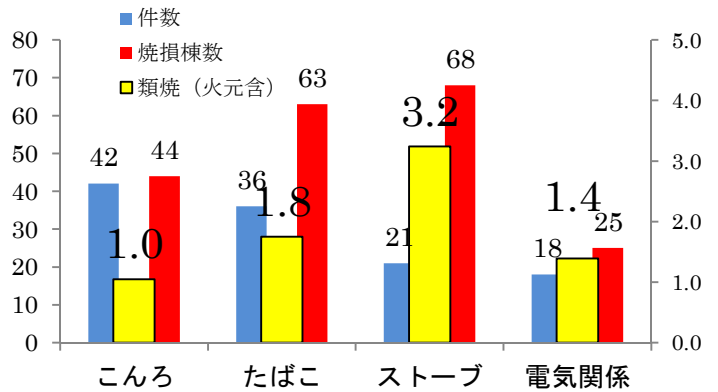


●燃え広がりやすい(隣家も被害に)

右の棒グラフは中央区の住宅火災原因10年間の原因トップ4を表したものです。

件数トップは「こんろ42件」で「ストーブ21件」は第3位でした。次に何棟の建物に被害があったか？比べてみると、「こんろ」は42件で44棟でしたが、「ストーブ」は21件で68棟に被害がありあました。「こんろ」が原因の火災が1件発生すると被害はほぼ1棟でしたが、「ストーブ」が原因の火災が1件発生すると、平均で3.2棟に被害が及んでいました。

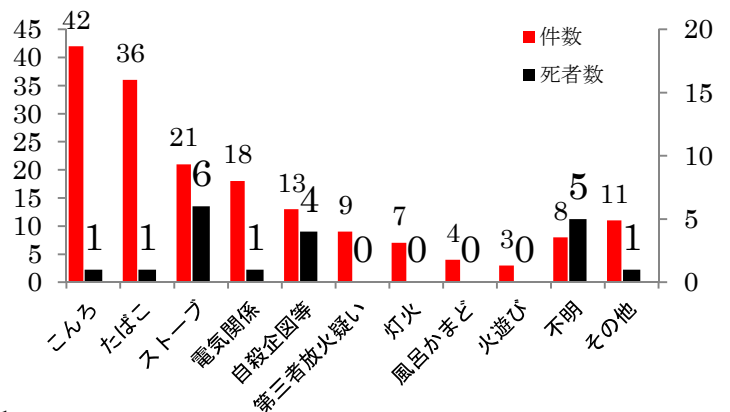
★原因によって被害にかなりの違いがあります！



●死者の発生が多い

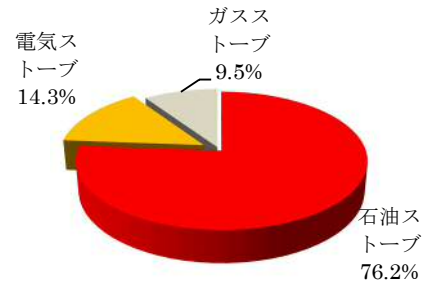
次に、火災でお亡くなりになられた方の状況です。これも「ストーブ」が原因の火災が最多で6名の方が犠牲となりました。燃え広がるスピードが早いなどが原因と思われます。

★原因によって、命を落とす危険度に違いがあります！



●ストーブの種類

中央区のストーブ火災では、石油ストーブが約80%を占めていました。東京都、横浜市などの大都市では、電気ストーブの割合が多くなります。

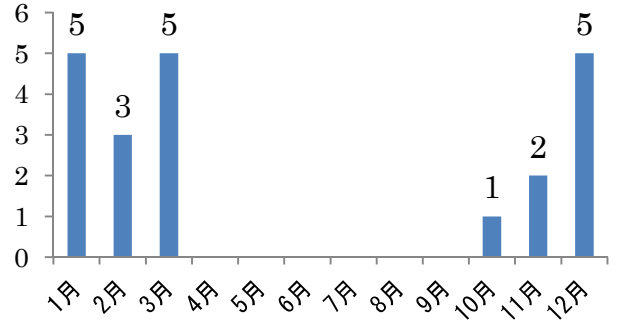


●発生時季

他の原因と決定的に違うのは、ストーブ火災は、発生時季が限定されていることです。

中央区では、10月から3月の下半期に限定的に発生していました。(冬～春先にかけて)

下半期の半年間だけ、それもストーブを扱う時だけ注意力をグググッと高めてもらえれば、防げそうですよね。みなさん一緒に取り組みましょう！



●まとめ

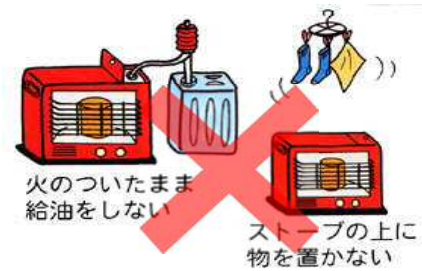
ストーブは新潟のこれからの時季になくてはならない暖房器具です。しかし、注意しないとかなり危険な器具ということがご理解いただけたと思います。ストーブの危険性と発生時季が限定していることなどの特徴をよくご理解いただいて、今年も安全で快適な冬を過ごしましょう！！

★必ず守って欲しいこと！

- 洗濯物は絶対に上に干さない
- 火がついたまま給油しない
- キャップはしっかり締める

この3つを必ず守りましょう。

また、布団などがストーブに接触して出火したもの、ストーブの前にスプレー缶を置き爆発した例などがあります。近くに燃えやすいものは置かないことを徹底しましょう！



★その他有効な対策

- 火災の発生を早く気づくために、住宅用火災警報器を設置しましょう。
- 火災による犠牲者を出さないため、住宅用消火器を設置しましょう。



住宅用火災警報器

<消防自動車の鐘の音「カンカン・カンカン」は火の用心のお願いです！>

中央消防署 災害情報(平成29年10月31日現在)

火災 15件 (前年比 -8件)

救急 6904件 (前年比 +203件)

救助 29件 (前年比 ±0件)

中央消防署市民安全課

TEL 025-288-3119

FAX 025-288-3315

住所 新潟市中央区鐘木257番地1